

平成29年度 第21回庁議要旨

日時：平成30年2月5日（月）

午前9時～午前10時

会場：庁議室

[審議事項]

1 復興公営住宅の家賃低減事業の延長及び収入超過者の負担軽減について（建設部）

復興公営住宅に入居する低額所得者については、生活の安定を図るため管理開始から10年間家賃を低減しているが、平成25年度に管理開始した復興公営住宅は平成30年度に6年目を迎え、「東日本大震災特別家賃低減事業」による家賃の低減幅が縮小する時期となる。

また、収入が基準を超過している入居者については、入居4年目以降は一般の公営住宅と同様に家賃に割増賃料が加算されることとなる。

来年度から家賃負担が上昇する時期を迎えるが、復興公営住宅入居者の生活の安定を取り戻すには時間を要するものと思われることから、家賃負担軽減の延長が求められている。

被災入居者の家賃負担を一定期間軽減することにより、安定した生活の再建を図るもの。

(1) 主な内容

①家賃低減事業の延長

ア 対象：政令月収8万円以下の入居者（復興住宅入居世帯数の約8割）

イ 管理開始6年目から段階的に低減幅が縮小するところ、10年目まで据え置く。

ウ 11年目に本来家賃とするところ、20年目まで10年間で段階的に低減幅を縮小する。

エ 21年目に本来家賃とする。

	改正	現行
管理開始～5年目まで	一定額の家賃低減	一定額の家賃低減
6年目～10年目	5年間据え置き	低減幅を段階的に縮小
11年目以降	低減幅を段階的に縮小	本来家賃
21年目以降	本来家賃	—

②収入超過者の負担軽減

ア 対象：政令月収15万8千円以上の入居者（復興住宅入居世帯数の約8%）

イ 入居4年目から段階的に割増賃料を加算するところ、8年目まで本来家賃に据え置く。

ウ 9年目から激変緩和措置として「近傍同種の住宅の家賃」まで段階的に引き上げる。

※「近傍同種の住宅の家賃」

：民間賃貸住宅の想定される計算上の家賃。実際の相場を示すものではない。

（本資料においては「近傍家賃」と表現する。）

	改 正	現 行
入居 1 ～ 3 年目	本来家賃	本来家賃
4 年目～	—	本来家賃＋割増賃料 (近傍家賃へ段階的に引上げ)
4 ～ 8 年目	5 年間据え置き	近傍家賃
9 年目～	本来家賃＋割増賃料 (近傍家賃へ段階的に引上げ)	—
11 ～ 18 年目	近傍家賃	—

(2) 今後の予定

平成 30 年 2 月 石巻市復興公営住宅家賃減免取扱要綱の一部改正
(平成 30 年 4 月 1 日施行予定)

2 住宅耐震化に係る総合支援メニューを活用した住宅耐震改修事業の促進について（建設部）

本市では、大規模な地震による木造住宅の被害を減ずるため、その所有者が耐震改修工事を実施する場合に、石巻市木造住宅耐震改修工事助成事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付しており、その補助金の財源としては、国の社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）、宮城県のみやぎ木造住宅耐震改修工事促進事業補助金及び市の一般財源を充てている。

今回、国において、住宅の耐震化を総合的に支援するメニューが創設されたことに伴い、国の防災・安全交付金の補助メニューを従来の効果促進事業から基幹事業に変更し、住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき取り組むことにより補助金の増額が図られることとなった。

木造住宅の耐震化を促進するため、住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づく取り組みを推進するとともに、補助金交付額を増額することで、住宅所有者の耐震改修工事に係る経済的負担の軽減を図るもの。

(1) 主な内容

① 住宅耐震化緊急促進アクションプログラムの取組み

- ア 新耐震基準制定以前に建築された木造住宅の所有者に対し、戸別訪問等により耐震化の普及・啓発活動を実施する。
- イ 石巻市木造住宅耐震診断助成事業を実施した住宅所有者に対し、耐震化の促進等に関するアンケート調査を実施する。
- ウ 宮城県建築物等地震対策推進協議会に参加し、耐震改修事業者等の技術向上や連携を図る。
- エ 広く市民に対し、市報・ホームページ等により住宅耐震化の普及・啓発活動を実施する。

② 補助金の改正

〔耐震改修工事のみの場合〕

区 分		改 正	現 行	増 減
対象工事費の上限額		1 2 5 万円	9 0 万円	3 5 万円増
補助金の交付限度額		1 0 0 万円 (工事費の 4/5)	4 0 万円 (工事費の 4/9)	6 0 万円増
特例加算補助金の 交付額		特例加算なし	1 5 万円 (工事費の 1/6)	1 5 万円減
合 計		1 0 0 万円	5 5 万円	4 5 万円増
財 源 内 訳	国庫支出金	5 0 万円 (工事費の 2/5 ≤ 県+市補助金)	2 0 万円 (市補助金の 1/2)	3 0 万円増
	県支出金	1 5 万円 (工事費の 3/25)	1 5 万円 (工事費の 1/6)	増減なし
	一般財源	3 5 万円	2 0 万円	1 5 万円増

〔耐震改修工事+その他改修工事（10万円以上）の場合〕

区 分		改 正	現 行	増 減
対象工事費の上限額		1 2 5 万円	9 0 万円	3 5 万円増
補助金の交付限度額		1 0 0 万円 (工事費の 4/5)	4 0 万円 (工事費の 4/9)	6 0 万円増
特例加算補助金の 交付額		1 0 万円 (その他改修工事 10 万円以上が対象)	2 5 万円 (工事費の 5/18)	1 5 万円減
合 計		1 1 0 万円	6 5 万円	4 5 万円増
財 源 内 訳	国庫支出金	5 0 万円 (工事費の 2/5 ≤ 県+市補助金)	2 0 万円 (市補助金の 1/2)	3 0 万円増
	県支出金	2 5 万円 (工事費の 1/5)	2 5 万円 (工事費の 5/18)	増減なし
	一般財源	3 5 万円	2 0 万円	1 5 万円増

(2) 今後の予定

平成30年2月	市議会第1回定例会に関連予算を提案
3月中旬	石巻市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム策定 (平成30年4月1日から運用開始予定)
	石巻市木造住宅耐震改修工事助成事業補助金交付要綱の一部改正 (平成30年4月1日施行予定)
5月	石巻市木造住宅耐震改修工事助成事業申込受付開始

〔報告事項〕

1 桃生郡医師会との災害時における医療救護活動に関する協定締結について（健康部）

大規模災害により傷病者が多数発生した際には、医療救護体制の確立のため救護所を設置するとともに医師・看護師の協力のもと医療救護班を編成し、傷病者への迅速な対応が必要であるが、東日本大震災時、河北、雄勝、河南、桃生、北上地区においては、市から県を通じ、医師等の派遣要請を行っていた。

桃生郡医師会と協定を締結し、上記地区における災害医療救護活動について、被災された方々に

対し、より迅速な対応を行うもの。

(1) 主な内容

【協定内容】

桃生郡医師会は河北、雄勝、河南、桃生、北上地区の市が設置する避難所等において以下の業務を行う。

- ① 傷病者に対する診断及び応急措置
- ② 傷病者の後方医療施設（石巻赤十字病院、石巻市立病院、仙石病院）への転送の要否及び転送順位の決定
- ③ 転送困難な患者及び避難所等における軽傷患者に対する医療の実施
- ④ 死亡の確認
- ⑤ その他医療救護活動に必要な業務

【協定締結期間】

平成30年2月7日～平成31年2月6日（1年毎に自動更新）

(2) 今後の予定

平成30年2月7日 災害時における医療救護活動についての協定締結式

2 後期高齢者医療制度の被保険者に係る住所地特例の適用について（健康部）

国民健康保険の住所地特例を受けていた方が、年齢到達等により後期高齢者医療制度へ加入する際、住所地特例の適用がなかったため、病院や施設等が多く存在する後期高齢者医療広域連合の医療費等の負担が増大し、財政上の不均衡が生じていた。

平成27年5月の「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」の公布により、「高齢者の医療の確保に関する法律」が一部改正され、平成30年4月から国民健康保険の住所地特例の適用を受けている被保険者が後期高齢者医療制度に加入した場合には、国民健康保険と同様、住所地特例が適用されることとなった。

国民健康保険の住所地特例を引き継ぐことにより、病院や施設等が多く存在する後期高齢者医療広域連合の医療費の増大を防ぎ、財政上の不均衡を避けるもの。

(1) 主な内容

- ・年齢到達等による後期高齢者医療制度への加入時は、国民健康保険の住所地特例の適用を引き継ぎ、従前地市町村の後期高齢者医療広域連合の被保険者となる。

《例》

		国民健康保険		後期高齢者医療	
改正前	住所	石巻市	施設入所⇒	山形県山形市	75歳到達⇒
	資格	石巻市		石巻市	
改正後	住所	石巻市	施設入所⇒	山形県山形市	75歳到達⇒
	資格	石巻市		石巻市	

(2) 今後の予定

平成30年2月 市議会第1回定例会に「石巻市後期高齢者医療に関する条例」の一部改正を提案（平成30年4月1日施行予定）

[その他]

- ・東日本大震災石巻市追悼式の実施について（総務部）
- ・北上観光物産交流センターのオープンについて（北上総合支所）
- ・第19回庁議提案「石巻市老人憩の家の無償譲渡について」の変更について（福祉部）
大土老人憩の家の土地の取扱いについて市有地分について条例に基づき無償譲渡することとしていたが、山田老人憩の家と同様、無償貸付契約に変更する旨の報告があった。

以 上